

## 情報化社会での教育のあり方を学ぶ

10月25日(水)18時から、厚真町総合福祉センターでNPO法人子どもとメディア専務理事である古野 陽一氏を講師に招き、「スマホ社会とメディア依存への対応」という演題で、厚真町メディア教育講演会が開催されました。



講演では、情報発信の危険性、スマホ育児の影響、スマホと学習効果の関係、体への影響、ネット・ゲーム依存など、多方面からスマホ時代のリスクについて話されました。

子どもに責任能力が無ければ、スマホを「遊び」や「楽しみ」で使ってはいけないこと、そして、子どものネット利用は「リスクを覚悟したうえで、それでも必要な機能を最小限利用する。」ことなど、子どもを守るべき大人の姿勢について警鐘を鳴らしていました。

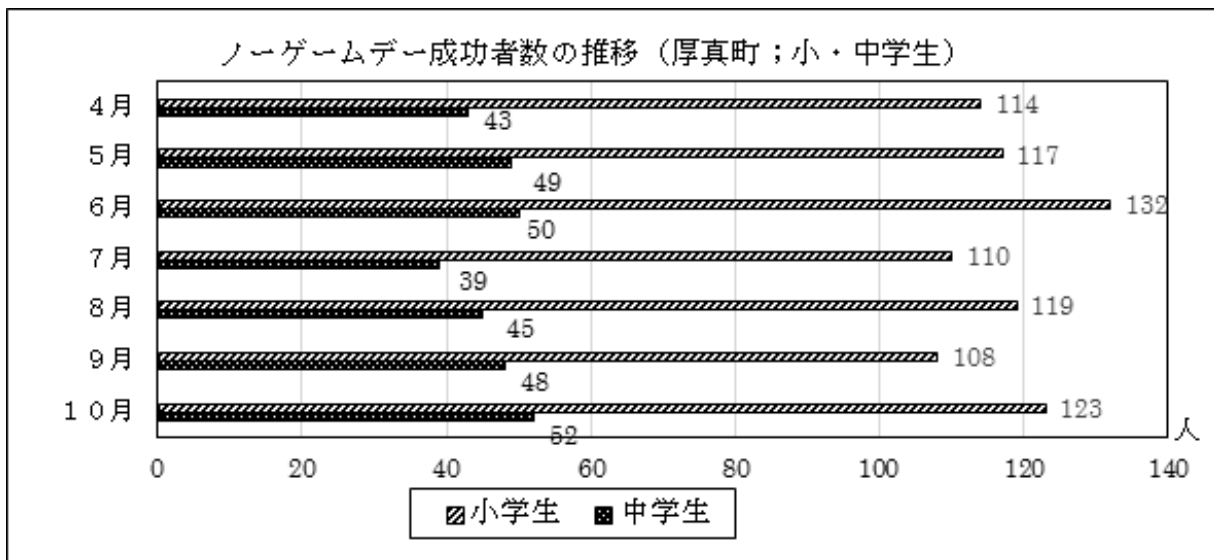
## ハロウィンで楽しい一夜



10月27日(金)、総合福祉センターでハロウィンパーティが開催されました。本パーティは町内のALTが外国の楽しい文化を子どもたちに紹介したいと企画したことがきっかけで始まり、本年度で22回目の開催となりました。今年度は町内の小学生107人が参加。ALTのエリッサ先生、ピーター先生が考案した6つのミニゲームを楽しみました。また、道内各地から9人のALTと、厚真高校からも8人の生徒がボランティアとして参加し、秋の一夜の盛り上がり華を添えてくれました。



## ノーゲームデー 10月の達成率 小学生 48% 中学生 48%



※ノーゲームデーの成功率とは、「ゲームをしなかった人数」の全児童(生徒)に占める割合です。

電子ゲームから離れ、規則正しい生活習慣の見直しのきっかけに、そして、自己コントロールの力をつけるために、「毎月、第1・第3日曜日は、電子ゲームをお休みしましょう。」という、「ノーゲームデー」を行っています。

10月のノーゲームデーの取組では、小学生では、「ゲームをしなかった」児童と「ゲームの時間をへらした」児童を合わせると、168人(全体の66%)の児童がノーゲームデーに意識的に取り組みました。

中学生では、「ゲームをしなかった」生徒と「ゲームの時間をへらした」生徒を合わせると80人の生徒(全体の75%)が、ノーゲームデーに意識的に取り組みました。